

医師資格証を使うには

共通事項

① ICカードリーダーの準備

市販のICカードリーダー（接触、非接触どちらもOK）であれば利用可能。
電子認証センターで動作確認した製品は以下のもの。

| 製造元 | 型名 | PCとの接続 |
|---------------------|-----------------------|--------|
| ジェムアルト（Gemalto） | PC USB-TR（旧型名PC Twin） | USB |
| 三菱電機インフォメーションテクノロジー | MM-520U | USB |
| NTTコミュニケーションズ | NTT-SCR3310-NTTcom | USB |
| マクセル精機 | MR-520UJ | USB |
| 日立製作所 | HX-520UJK | USB |
| シャープ | RW-5100 | USB |
| SONY | RC-S380 | USB |

② ICカードドライバのインストール

- ◆ ICチップのコントロールドライバ。
- ◆ 利用者（医師）にはカード発行に合わせて提供。
- ◆ 医師資格証を利用するシステムやアプリケーションを構築するベンダさんに関しては、提供費用含めて、個別相談。

電子署名での利用

① 署名アプリケーションの独自開発

◆ 参照するドキュメント

JAHIS標準12-007「JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.1.1」

http://www.jahis.jp/jahis_standards_healthcarepk_12-007/

② 製品の購入

◆ 現在のところHPKI対応製品としては2社が取扱中

□ 株式会社テクノウェア

- PDFファイルへの署名製品
- XMLファイルへの署名製品
- ASP・SaaS型PDFファイルへの署名システム

□ アイサンテクノロジー株式会社

- OFFICE形式（.docx、.xlsx）への署名

※ 当社にもありますという場合、お知らせください。順次、ご紹介させていただきます。

■ 署名を確認するアプリケーション（Verifier）については、日医から**無償提供**。

認証での利用

① 認証アプリケーションの独自開発

◆ 参考になるドキュメント

JAHIS標準10-005「JAHIS HPKI電子認証ガイドライン V1.0」

<http://www.jahis.jp/10-005/>

② 日医認証基盤の利用

◆ 地域医療連携の際の利用を想定。

◆ SAMLを利用したシングル・サインオンを提供するもの。

◆ 地域医療連携システム側にSAML情報をやり取りする認証・認可システムを構築する必要がある。

◆ 利用者（医師）の費用はゼロ円。構築事業者もしくは運営主体者からは、認証・認可システムと認証基盤システムの接続時の初期設定費用として、25万～75万円の費用を徴収。

➤ 構築方法

【独自開発】

- 参考文書 経済産業省 平成22年度 医療情報化促進事業報告書

①成果報告書 <https://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/7-report.pdf>

②添付資料（SAML実装仕様書） <https://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/7-data.pdf>

【ベンダに依頼】

NEC、富士通、三菱電機インフォメーションシステムズ、NTTデータ、電算



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

<http://www.jmaca.med.or.jp/>